



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省 山梨労働局

Press Release

山梨労働局発表
令和2年4月28日

職業安定部 職業安定課
職業安定課長 山田 一典
地方労働市場情報官 利根川 稔
電話 055-225-2857 (内線402・407)

山梨県の労働市場の動き（令和2年3月分）

- 有効求人倍率(季節調整値)は**1.20倍**で、前月に比べて0.08ポイント低下。
- 新規求人倍率(季節調整値)は**1.78倍**で、前月に比べて0.08ポイント低下。
- 正社員有効求人倍率は**0.75倍**で、前年同月に比べて0.11ポイント低下。

○厚生労働省 山梨労働局では、県内の公共職業安定所(ハローワーク)における求人、求職、就職の状況を取りまとめ、求人倍率などの指標を作成し、「山梨県の労働市場の動き」として毎月公表しています。

一般職業紹介状況を見ると、有効求人(季節調整値)は15,582人となり、前月に比べ▲8.6%(1,473人)減少し、有効求職者(同値)は12,993人で前月に比べ▲2.8%(378人)減少しました。

(※2-1, 10-2参照)

新規求人(原数値)は 5,399人 となり、前年同月と比較すると ▲14.5% (914人) 減少しました。

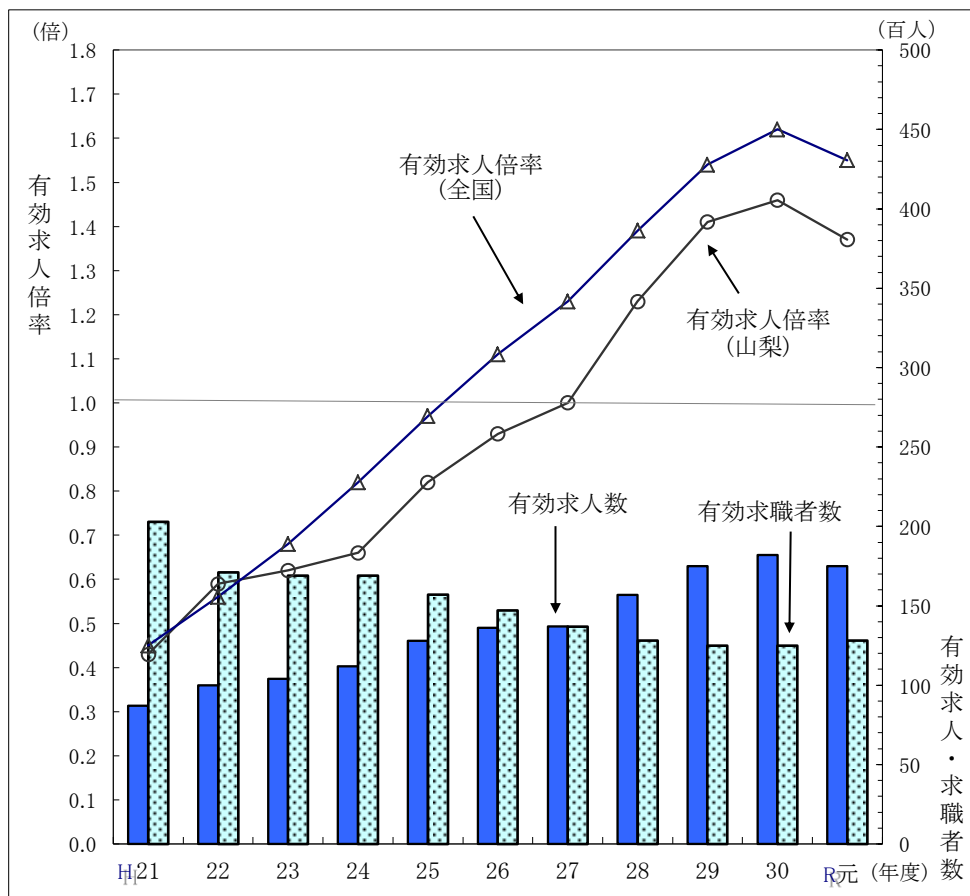
これを主な産業別でみると、運輸業,郵便業12.1%(24人)、学術研究,専門・技術サービス業23.4%(18人)、教育,学習支援業1.0%(1人)、医療,福祉4.9%(68人)は増加となりました。

一方、建設業▲9.2%(39人)、製造業▲17.2%(147人)、情報通信業▲1.4%(1人)、卸売業,小売業▲28.2%(209人)、宿泊業,飲食サービス業▲31.8%(186人)、生活関連サービス業,娯楽業▲19.4%(67人)、サービス業▲38.2%(420人)は減少しました。

(※3参照)

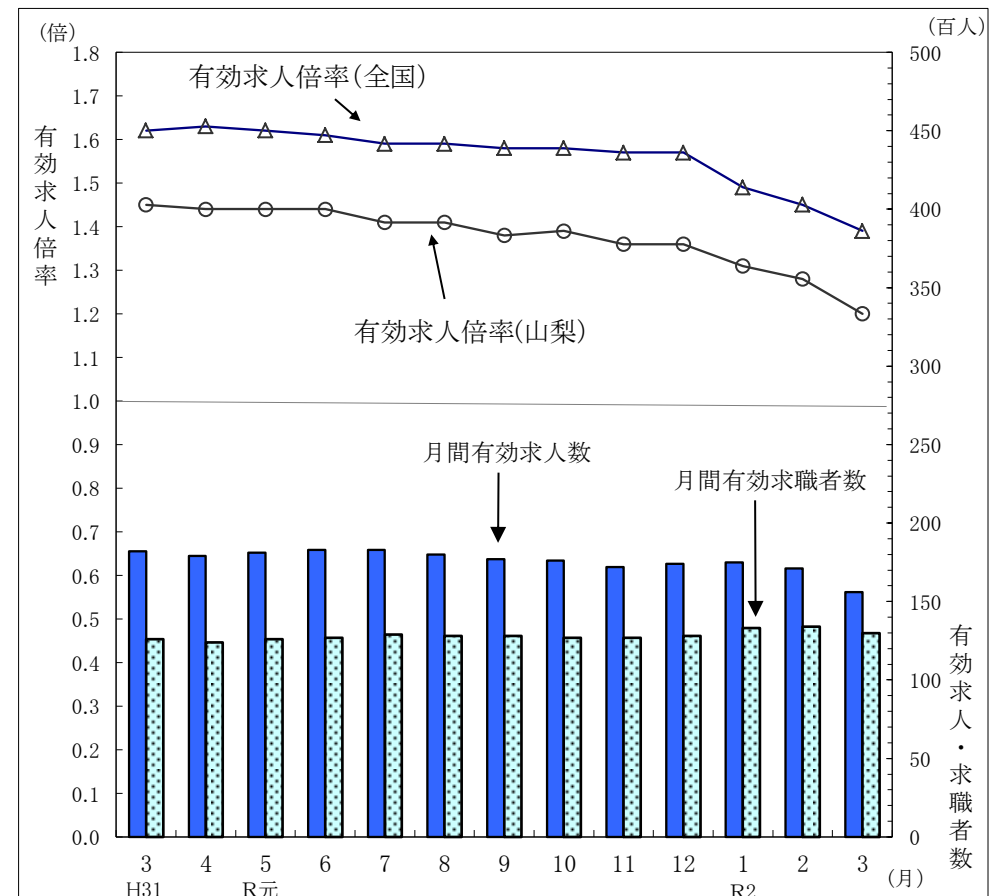
新規求職者(原数値)は3,282人となり、前年同月と比較すると▲0.9%(29人)減少しました。雇用形態別でみると、常用(パートを除く)は2,020人で▲2.4%(50人)減少しました。また、離職者のうち事業主都合離職者は248人で31.9%(60人)増加し、自己都合離職者は643人で▲10.2%(73人)減少しました。

(※2-1, 4参照)



有効求人倍率（年度平均）

年度	平成21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
県	0.43	0.59	0.62	0.66	0.82	0.93	1.00	1.23	1.41	1.46	1.37
全国	0.45	0.56	0.68	0.82	0.97	1.11	1.23	1.39	1.54	1.62	1.55



有効求人倍率(季節調整値)

月	H 31	3	4	R元	5	6	7	8	9	10	11	12	R 2	1	2	3
県	1.45	1.44	1.44	1.44	1.41	1.41	1.38	1.39	1.36	1.36	1.31	1.28	1.20			
全国	1.62	1.63	1.62	1.61	1.59	1.59	1.58	1.58	1.57	1.57	1.49	1.45	1.39			

- (注) 1. 求人倍率とは、求職者に対する比率をいい、求職者1人あたりの求人数を示します。
2. 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和元年12月以前の数値は新季節指数により改訂されています。
3. 文中の産業分類は、平成25年10月改訂の「日本標準産業分類」に基づくものです。
4. ▲は減少である。

正 社 員 の 職 業 紹 介 状 況

年 月	全体の 有効求人 倍率 (季節調整値)	正社員			新規求職者数					新規求人数					就職件数					就職率		
		有効 求人倍率	有効 求職者数	有効 求人数	合計	正社員	非正社員	構成比		合計	正社員	非正社員	構成比		合計	正社員	非正社員	構成比		(就職件数／新規求職者数)％		
								正社員	非正社員				正社員	非正社員				正社員	非正社員	合計	正社員	非正社員
平成31年 3月	1.45	0.86	8,161	7,054	3,311	2,070	1,241	62.5	37.5	6,313	2,238	4,075	35.5	64.5	1,241	435	806	35.1	64.9	37.5	21.0	64.9
4月	1.44	0.84	8,156	6,886	3,823	2,210	1,613	57.8	42.2	6,587	2,377	4,210	36.1	63.9	1,306	482	824	36.9	63.1	34.2	21.8	51.1
令和元年 5月	1.44	0.86	7,852	6,791	3,157	1,897	1,260	60.1	39.9	6,745	2,375	4,370	35.2	64.8	1,214	445	769	36.7	63.3	38.5	23.5	61.0
6月	1.44	0.88	7,496	6,582	2,878	1,705	1,173	59.2	40.8	6,127	2,153	3,974	35.1	64.9	1,148	411	737	35.8	64.2	39.9	24.1	62.8
7月	1.41	0.91	7,633	6,912	3,204	2,029	1,175	63.3	36.7	6,737	2,539	4,198	37.7	62.3	1,180	445	735	37.7	62.3	36.8	21.9	62.6
8月	1.41	0.91	7,472	6,776	2,681	1,713	968	63.9	36.1	5,943	2,233	3,710	37.6	62.4	923	401	522	43.4	56.6	34.4	23.4	53.9
9月	1.38	0.91	7,460	6,775	2,852	1,715	1,137	60.1	39.9	5,936	2,236	3,700	37.7	62.3	966	374	592	38.7	61.3	33.9	21.8	52.1
10月	1.39	0.91	7,421	6,762	3,125	1,845	1,280	59.0	41.0	6,640	2,470	4,170	37.2	62.8	986	391	595	39.7	60.3	31.6	21.2	46.5
11月	1.36	0.91	7,210	6,594	2,750	1,587	1,163	57.7	42.3	5,420	1,988	3,432	36.7	63.3	990	391	599	39.5	60.5	36.0	24.6	51.5
12月	1.36	0.90	7,127	6,436	2,656	1,719	937	64.7	35.3	5,590	2,134	3,456	38.2	61.8	925	350	575	37.8	62.2	34.8	20.4	61.4
令和2年 1月	1.31	0.82	7,511	6,123	3,790	2,222	1,568	58.6	41.4	6,709	2,066	4,643	30.8	69.2	746	325	421	43.6	56.4	19.7	14.6	26.8
2月	1.28	0.77	7,882	6,072	3,182	1,948	1,234	61.2	38.8	5,882	2,020	3,862	34.3	65.7	1,027	345	682	33.6	66.4	32.3	17.7	55.3
3月	1.20	0.75	8,172	6,103	3,282	2,020	1,262	61.5	38.5	5,399	2,137	3,262	39.6	60.4	1,461	384	1,077	26.3	73.7	44.5	19.0	85.3
前年同月比 (率・差)	▲ 0.25	▲ 0.11	0.1	▲ 13.5	▲ 0.9	▲ 2.4	1.7	▲ 1.0	1.0	▲ 14.5	▲ 4.5	▲ 20.0	4.1	▲ 4.1	17.7	▲ 11.7	33.6	▲ 8.8	8.8	7.0	▲ 2.0	20.4

(注) 1. 正社員有効求人倍率は、正社員有効求人数／常用フルタイム有効求職者数(パートタイムを除く常用)となります。
なお、常用フルタイム有効求職者には、フルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となります。
2. 「非正社員」とは、パートタイム労働者、派遣労働者、臨時・季節労働者、契約社員、準社員、嘱託等の、正社員・正職員でない者であります。
3. 全体の有効求人倍率は季節調整値となり、その他はすべて実数値となります。
4. 求職者数、求人数、就職件数については前年同月比(％)となり、有効求人倍率、構成比、就職率については前年同月差(ポイント)となります。
5. 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。(なお、令和元年12月以前の数値は新季節指数により改訂されています。)
6. ▲は減少である。

産業別新規求人数の推移

■令和2年3月の新規求人数(原数値)は5,399人となり、前年同月比でみると、▲14.5%(914人)減少となりました。

主な産業別でみると、同比で運輸業,郵便業、学術研究,専門・技術サービス業、教育,学習支援業、医療,福祉は増加となりました。一方、建設業、製造業、情報通信業、卸売業,小売業、宿泊業,飲食サービス業、生活関連サービス業,娯楽業、サービス業は減少しました。

また、県内の主要産業である製造業においては同比▲17.2%(147人)減少となりました。その中で主力のはん用機械器具製造業18.8%(6人)、業務用機械器具製造業115.8%(22人)、電子部品・デバイス・電子回路製造業16.3%(7人)、電気機械器具製造業1.4%(1人)は増加となりましたが、食料品製造業▲50.6%(121人)、金属製品製造業▲15.0%(6人)、生産用機械器具製造業▲43.4%(23人)、輸送用機械器具製造業▲9.6%(5人)は減少しました。

項 目 産 業 名	人(全数) R2.3	前年同月数 (H31.3)	対前年同月 増減率(%)	前年同月 差(人)
A,B 農,林,漁業(01～04)	128	(103)	24.3	25
C 鉱業,採石業,砂利採取業(05)	4	(3)	33.3	1
D 建設業(06～08)	386	(425)	▲ 9.2	▲ 39
(06 総合工事業)	254	(296)	▲ 14.2	▲ 42
E 製造業(09～32)	708	(855)	▲ 17.2	▲ 147
09 食料品製造業	118	(239)	▲ 50.6	▲ 121
10 飲料・たばこ・飼料製造業	55	(52)	5.8	3
11 繊維工業	10	(14)	▲ 28.6	▲ 4
12 木材・木製品製造業(家具を除く)	4	(5)	▲ 20.0	▲ 1
13 家具・装備品製造業	5	(13)	▲ 61.5	▲ 8
14 パルプ・紙・紙加工品製造業	15	(19)	▲ 21.1	▲ 4
15 印刷・同関連業	13	(9)	44.4	4
16 化学工業	38	(12)	216.7	26
17 石油製品・石炭製品製造業	0	(0)	-	0
18 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	70	(55)	27.3	15
19 ゴム製品製造業	2	(2)	0.0	0
21 窯業・土石製品製造業	16	(15)	6.7	1
22 鉄鋼業	6	(6)	0.0	0
23 非鉄金属製造業	7	(12)	▲ 41.7	▲ 5
24 金属製品製造業	34	(40)	▲ 15.0	▲ 6
25 はん用機械器具製造業	38	(32)	18.8	6
26 生産用機械器具製造業	30	(53)	▲ 43.4	▲ 23
27 業務用機械器具製造業	41	(19)	115.8	22
28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	50	(43)	16.3	7
29 電気機械器具製造業	73	(72)	1.4	1
30 情報通信機械器具製造業	9	(10)	▲ 10.0	▲ 1
31 輸送用機械器具製造業	47	(52)	▲ 9.6	▲ 5
20,32 その他の製造業	27	(81)	▲ 66.7	▲ 54
F 電気・ガス・熱供給・水道業(33～36)	1	(1)	0.0	0
G 情報通信業(37～41)	68	(69)	▲ 1.4	▲ 1
H 運輸業,郵便業(42～49)	223	(199)	12.1	24
I 卸売業,小売業(50～61)	533	(742)	▲ 28.2	▲ 209
J 金融業,保険業(62～67)	29	(26)	11.5	3
K 不動産業,物品賃貸業(68～70)	35	(50)	▲ 30.0	▲ 15
L 学術研究,専門・技術サービス業(71～74)	95	(77)	23.4	18
M 宿泊業,飲食サービス業(75～77)	399	(585)	▲ 31.8	▲ 186
N 生活関連サービス業,娯楽業(78～80)	278	(345)	▲ 19.4	▲ 67
O 教育,学習支援業(81,82)	106	(105)	1.0	1
P 医療,福祉(83～85)	1,448	(1,380)	4.9	68
Q 複合サービス事業(86,87)	52	(18)	188.9	34
R サービス業(他に分類されないもの)(88～96)	680	(1,100)	▲ 38.2	▲ 420
S,T 公務(他に分類されるものを除く)・その他(97,98,99)	226	(230)	▲ 1.7	▲ 4
合 計	5,399	(6,313)	▲ 14.5	▲ 914
29人以下	3,487	(4,202)	▲ 17.0	▲ 715
30～99人	1,340	(1,464)	▲ 8.5	▲ 124
100～299人	481	(464)	3.7	17
300～499人	29	(78)	▲ 62.8	▲ 49
500～999人	27	(77)	▲ 64.9	▲ 50
1, 000人以上	35	(28)	25.0	7

(注) ① 新規学卒者を除きパートタイムを含みます。
② 平成25年10月改訂の「日本標準産業分類」に基づく区分により表章したものです。
③ ▲は減少です。

◇事業所規模別の状況をみると、29人以下(64. 6%)、30～99人(24. 8%)、100～299人(8. 9%)、300～499人(0. 5%)、500～999人(0. 5%)、1, 000人以上(0. 6%)です。

求 職 の 動 向

■令和2年3月の新規求職者数(パートタイム及び臨時・季節を含む全数)は3,282人(原数値)となり、前年同月比で▲0.9%(29人)減少しました。(※2-1を参照)

これを臨時・季節を除いた新規求職者数(含パート)でみると、前年同月比(原数値)で▲0.7%(24人)減の3,247人となりました。

そのうち、在職者(パートを除く)については▲13.4%(132人)減の856人となり、離職者(パートを除く)においては▲0.1%(1人)減の949人となりました。

離職者のうち、事業主都合離職者(パートを除く)は31.9%(60人)増の248人となり、自己都合離職者(パートを除く)は▲10.2%(73人)減の643人となりました。

新規求職者数(パートを除く)を年齢別に前年同月比でみると、44歳以下は▲6.7%(84人)減の1,161人となり、45歳以上は4.1%(34人)増の859人となりました。

【前年同月比(%)、人】

項目 年度別 月別	新規求職者(含パート)							新規求職者(パートを除く)				
	計	パートを除く										
		計	在職者	離職者		無業者		44歳以下	45歳以上	45歳以上 の構成比	55歳 以上	65歳 以上
				事業主 都 合	自 己 都 合							
H24年度	▲ 2.8	▲ 2.8	5.5	▲ 1.3	2.6	▲ 2.4	▲ 27.0	▲ 4.4 (21,936)	0.6 (11,199)	33.8	▲ 3.2	13.9
H25年度	▲ 7.0	▲ 6.8	4.2	▲ 12.2	▲ 24.0	▲ 3.1	▲ 7.9	▲ 7.3 (20,345)	▲ 5.8 (10,551)	34.2	▲ 7.9	▲ 10.8
H26年度	▲ 3.5	▲ 5.2	3.6	▲ 8.6	▲ 13.0	▲ 5.4	▲ 16.5	▲ 7.1 (18,909)	▲ 1.7 (10,371)	35.4	▲ 6.8	13.0
H27年度	▲ 6.2	▲ 6.4	▲ 3.5	▲ 5.9	▲ 12.8	▲ 2.5	▲ 22.3	▲ 6.5 (17,685)	▲ 6.4 (9,707)	35.4	▲ 6.4	▲ 2.8
H28年度	▲ 4.9	▲ 7.6	0.9	▲ 12.3	▲ 20.0	▲ 9.2	▲ 17.1	▲ 8.4 (16,207)	▲ 6.1 (9,115)	36.0	▲ 3.5	8.9
H29年度	▲ 4.0	▲ 5.5	0.8	▲ 10.0	▲ 18.1	▲ 6.4	▲ 10.3	▲ 7.1 (15,064)	▲ 2.7 (8,865)	37.0	▲ 3.2	▲ 2.9
H30年度	▲ 1.3	▲ 2.9	▲ 5.8	0.6	▲ 4.6	2.1	▲ 10.1	▲ 7.3 (13,961)	4.6 (9,269)	39.9	10.1	23.7
R元年度	0.6	▲ 2.7	▲ 5.7	▲ 1.1	2.3	▲ 2.9	7.2	▲ 7.1 (12,970)	4.0 (9,640)	42.6	11.2	29.0
H31. 3	▲ 6.4	▲ 9.5	▲ 15.8	0.3	3.9	1.8	▲ 21.0	▲ 13.2 (1,245)	▲ 3.3 (825)	39.9	6.1	19.5
	3,271	2,070	988	950	188	716	132	- -	- -	-	402	92
4	▲ 3.0	▲ 0.6	▲ 2.3	1.7	▲ 2.0	4.9	▲ 13.5	▲ 8.8 (1,228)	12.1 (982)	44.4	17.2	28.4
R元. 5	▲ 5.7	▲ 6.6	▲ 14.2	▲ 1.0	▲ 21.0	3.9	▲ 2.8	▲ 4.8 (1,144)	▲ 9.1 (753)	39.7	▲ 5.7	▲ 13.3
6	4.9	▲ 4.5	▲ 0.4	▲ 7.8	9.6	▲ 10.5	▲ 4.3	▲ 3.6 (1,025)	▲ 5.8 (680)	39.9	11.6	74.6
7	17.5	13.1	8.4	15.5	56.4	1.3	28.3	5.9 (1,194)	25.4 (835)	41.2	37.6	66.7
8	▲ 8.9	▲ 12.2	▲ 18.6	▲ 7.2	▲ 10.1	▲ 6.5	▲ 4.7	▲ 15.3 (1,026)	▲ 7.2 (687)	40.1	▲ 2.4	▲ 1.5
9	3.3	▲ 2.7	▲ 9.4	4.1	2.6	6.4	▲ 12.5	▲ 5.7 (1,014)	1.9 (701)	40.9	▲ 3.6	7.5
10	▲ 9.6	▲ 12.8	▲ 13.3	▲ 14.7	▲ 16.8	▲ 15.8	11.1	▲ 15.6 (1,100)	▲ 8.3 (745)	40.4	0.0	0.0
11	▲ 2.7	▲ 5.6	▲ 9.9	▲ 1.0	38.8	▲ 10.0	▲ 9.7	▲ 11.2 (917)	3.2 (670)	42.2	15.5	14.8
12	15.6	17.5	40.2	3.1	▲ 10.3	9.5	▲ 24.3	3.2 (871)	37.0 (848)	49.3	64.4	149.4
R2. 1	8.1	1.6	▲ 1.7	4.9	▲ 8.9	11.8	0.0	▲ 5.3 (1,201)	11.1 (1,021)	45.9	15.6	29.9
2	▲ 4.0	▲ 10.1	▲ 16.3	▲ 9.1	6.1	▲ 15.9	29.7	▲ 12.3 (1,089)	▲ 7.1 (859)	44.1	▲ 6.0	10.4
R2. 3	▲ 0.7	▲ 2.4	▲ 13.4	▲ 0.1	31.9	▲ 10.2	62.9	▲ 6.7 (1,161)	4.1 (859)	42.5	4.0	▲ 3.3
	3,247	2,020	856	949	248	643	215	- -	- -	-	418	89
前年同月差	▲ 24	▲ 50	▲ 132	▲ 1	60	▲ 73	83	- ▲ 84	- 34	-	16	▲ 3

(注) 1. 新規求職申込みをした求職者「常用:原数値」のみの数を計上してあります。

2. ()内は原数値。

3. 各月欄は、対前年同月増減比を表示。最新月及び前年同月の下欄は原数値。

4. ▲は、減少である。

※1. 「常用」とは、雇用契約において雇用期間の定めのない場合、または4ヶ月以上の雇用期間が定められている場合をいいます。

※2. 「無業者」とは、離職後1年を超える者、家事・育児従業者、学卒未就職者等をいいます。

職業別求職・求人の状況

管理的職業、専門的・技術的職業（主に看護師、薬剤師、建築・土木技術者等）、販売の職業、サービスの職業、保安の職業（警備員、交通誘導員等）、生産工程の職業、輸送・機械運転の職業、建設・採掘の職業について、求人倍率は1倍以上となりました。

一方、他の職業においては有効求人倍率が1倍を割っています。特に事務的職業において求人倍率が低くなっています。

令和2年3月

項 目 職 業 別		有効求職			有効求人	有効求人 倍 率
		計	男	女		
実 数 (人)	合計	8,172	4,603	3,566	7,939	0.97
	A 管理的職業	26	24	2	48	1.85
	B 専門的・技術的職業	989	509	479	1,728	1.75
	C 事務的職業	2,073	513	1,560	706	0.34
	D 販売の職業	496	312	184	666	1.34
	E サービスの職業	826	351	475	1,592	1.93
	F 保安の職業	54	53	1	203	3.76
	G 農林漁業の職業	184	162	22	95	0.52
	H 生産工程の職業	1,398	1,051	347	1,393	1.00
	I 輸送・機械運転の職業	284	276	8	474	1.67
	J 建設・採掘の職業	132	129	3	598	4.53
	K 運搬・清掃・包装等の職業	693	522	170	436	0.63
	分類不能	1,017	701	315	0	0.00
構 成 比 (%)	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	－
	A 管理的職業	0.3	0.5	0.1	0.6	－
	B 専門的・技術的職業	12.1	11.1	13.4	21.8	－
	C 事務的職業	25.4	11.1	43.7	8.9	－
	D 販売の職業	6.1	6.8	5.2	8.4	－
	E サービスの職業	10.1	7.6	13.3	20.1	－
	F 保安の職業	0.7	1.2	0.0	2.6	－
	G 農林漁業の職業	2.3	3.5	0.6	1.2	－
	H 生産工程の職業	17.1	22.8	9.7	17.5	－
	I 輸送・機械運転の職業	3.5	6.0	0.2	6.0	－
	J 建設・採掘の職業	1.6	2.8	0.1	7.5	－
	K 運搬・清掃・包装等の職業	8.5	11.3	4.8	5.5	－
	分類不能	12.4	15.2	8.8	0.0	－

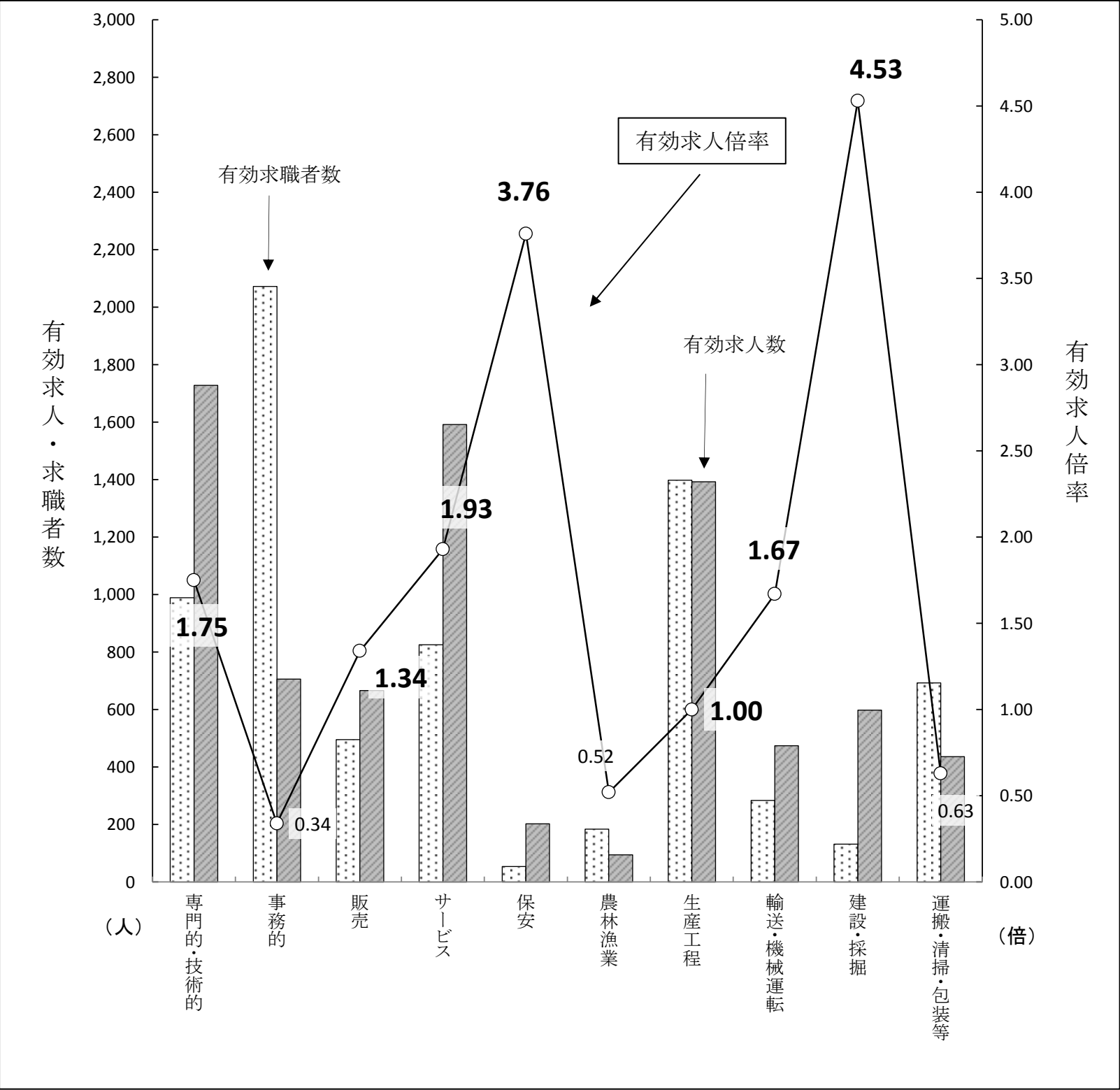
(注) ① 「常用」の原数値（パート及び臨時・季節を除く）です。

② 求職申込書における「性別」欄の記載が任意となっていることから、男女別の合計は全体の値と一致しない場合もあります。

用語解説：
 専門的・技術的職業：「高度の専門的水準において、科学的知識を応用し、技術的な業務に従事するもの及び医療・法律・教育・宗教・芸術・その他専門的性質の業務に従事するもの」をいう。

職業別求人・求職バランスシート

令和2年3月



職業	専門的・技術的	事務的	販売	サービス	保安	農林漁業	生産工程	輸送・機械運転	建設・採掘	運搬・清掃・包装等	合計
有効求人数	1,728	706	666	1,592	203	95	1,393	474	598	436	7,939
有効求職者数	989	2,073	496	826	54	184	1,398	284	132	693	8,172
有効求人倍率	1.75	0.34	1.34	1.93	3.76	0.52	1.00	1.67	4.53	0.63	0.97

(注)
①「常用」の原数値(パート及び臨時・季節を除く)です。
②[職業]の合計欄には、[管理的職業]、[分類不能]を含みます。

企 業 整 備 状 況

令和元年度

【前年(同月)比】(件、人、%)

項 目		合 計				内 訳				規 模 別(件数)				中 高 年 齢 者 数
		件 数	対前年 増減率	人 員	対前年 増減率	人員整理		倒 産		29人 以下	30～ 99人	100～ 499人	500人 以上	
						件数	人 員	件数	人 員					
平成24年度		64 (	25.5)	1,564 (	▲ 5.3)	57	1,377	7	187	32	17	10	5	895
平成25年度		63 (	▲ 1.6)	973 (	▲ 37.8)	49	739	14	234	31	17	13	2	610
平成26年度		48 (	▲ 23.8)	1,701 (	74.8)	43	1,492	5	209	22	9	11	6	1,134
平成27年度		50 (	4.2)	968 (	▲ 43.1)	37	490	13	478	27	15	8	0	486
平成28年度		30 (	▲ 40.0)	497 (	▲ 48.7)	26	366	4	131	19	7	3	1	256
平成29年度		27 (	▲ 10.0)	767 (	54.3)	24	574	3	193	17	5	3	2	520
平成30年度		23 (	▲ 14.8)	446 (	▲ 41.9)	19	394	4	52	10	8	3	2	276
令和元年度		36 (	56.5)	494 (	10.8)	34	458	2	36	29	5	2	0	340
平成 30 年 度	4月	0 (	－)	0 (	－)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5月	2 (	▲ 33.3)	73 (	180.8)	1	52	1	21	1	1	0	0	49
	6月	3 (	0.0)	57 (	83.9)	3	57	0	0	1	0	2	0	25
	7月	1 (	▲ 75.0)	5 (	▲ 94.4)	1	5	0	0	1	0	0	0	4
	8月	2 (	100.0)	15 (	50.0)	1	9	1	6	2	0	0	0	5
	9月	1 (	0.0)	32 (	▲ 8.6)	1	32	0	0	0	1	0	0	8
	10月	4 (	300.0)	39 (	387.5)	4	39	0	0	1	2	1	0	24
	11月	2 (	0.0)	33 (	▲ 46.8)	1	25	1	8	1	0	0	1	31
	12月	2 (	▲ 60.0)	61 (	▲ 73.8)	2	61	0	0	0	1	0	1	61
	1月	1 (	－)	17 (	－)	0	0	1	17	1	0	0	0	12
	2月	2 (	▲ 33.3)	11 (	▲ 66.7)	2	11	0	0	1	1	0	0	4
	3月	3 (	▲ 25.0)	103 (	▲ 57.1)	3	103	0	0	1	2	0	0	53
令和 元 年 度	4月	3 (	－)	40 (	－)	2	26	1	14	3	0	0	0	26
	5月	2 (	0.0)	49 (	▲ 32.9)	2	49	0	0	0	2	0	0	44
	6月	4 (	33.3)	29 (	▲ 49.1)	4	29	0	0	4	0	0	0	22
	7月	1 (	0.0)	18 (	260.0)	1	18	0	0	1	0	0	0	17
	8月	2 (	0.0)	16 (	6.7)	2	16	0	0	2	0	0	0	11
	9月	2 (	100.0)	25 (	▲ 21.9)	2	25	0	0	1	1	0	0	15
	10月	2 (	▲ 50.0)	29 (	▲ 25.6)	2	29	0	0	2	0	0	0	24
	11月	4 (	100.0)	44 (	33.3)	4	44	0	0	4	0	0	0	26
	12月	2 (	0.0)	21 (	▲ 65.6)	2	21	0	0	2	0	0	0	7
	1月	7 (	600.0)	117 (	588.2)	7	117	0	0	5	1	1	0	66
	2月	3 (	50.0)	62 (	463.6)	2	40	1	22	1	1	1	0	52
	3月	4 (	33.3)	44 (	▲ 57.3)	4	44	0	0	4	0	0	0	30

(注) 県内の公共職業安定所を通じて、**5人以上の解雇・雇止めについて**事業所からの任意の届出により把握した状況です。
企業整備が複数月に亘って実施される場合は、開始月に一括して計上しています。

※▲は、減少である。 ※(-)は前年同月の数値が「0」のため計算不可。
※令和元年度の数値は、令和2年3月迄の合計であり、「対前年増減率」の数値は、平成30年度計との比較。
※届出の状況により数値が変更となる場合があります。

◆企業整備状況を前年同月比でみると、件数は1件(33. 3%)増加、企業整備人員は59人(57. 3%)減少となりました。
企業整備人員44人のうち、男性が23人(52. 3%)、女性が21人(47. 7%)です。
年齢構成では、45歳以上の中高年齢者層は30人(68. 2%)です。

雇用保険関係主要指標（適用関係）

山梨労働局職業安定部職業安定課

項目 年 度		1 適用事業所数		2 被保険者数		3 資格取得者数		4 資格喪失者数		5 4のうち 解雇者数		6 離職票 交付枚数		7 事務組 合 数	事務組合委託状況			
		8 事業所数		9 被保険者数														
			対前年増減率		対前年増減率		対前年増減率		対前年増減率		対前年増減率		対前年増減率					
23年度		13,239	▲ 0.4	197,278	0.2	37,145	▲ 2.4	36,623	13.4	4,602	31.8	23,711	11.5	84	4,777	▲ 0.6	26,341	▲ 0.5
24年度		13,179	▲ 0.5	197,180	0.0	36,563	▲ 1.6	36,534	▲ 0.2	4,273	▲ 7.1	25,133	6.0	82	4,763	▲ 0.3	26,241	▲ 0.4
25年度		13,278	0.8	199,811	1.3	38,113	4.2	35,147	▲ 3.8	3,029	▲ 29.1	23,410	▲ 6.9	81	4,843	1.7	27,107	3.3
26年度		13,472	1.5	202,838	1.5	40,265	5.6	36,736	4.5	4,048	33.6	23,982	2.4	82	4,925	1.7	28,256	4.2
27年度		13,646	1.3	206,284	1.7	39,873	▲ 1.0	35,714	▲ 2.8	2,828	▲ 30.1	23,129	▲ 3.6	82	5,012	1.8	28,920	2.3
28年度		13,894	1.8	212,205	2.9	40,511	1.6	34,458	▲ 3.5	2,210	▲ 21.9	22,402	▲ 3.1	80	5,065	1.1	29,833	3.2
29年度		14,120	1.6	217,769	2.6	41,584	2.6	35,548	3.2	2,158	▲ 2.4	22,398	▲ 0.0	79	5,161	1.9	30,649	2.7
30年度		14,194	0.5	221,332	1.6	41,120	▲ 1.1	37,462	5.4	2,178	0.9	23,410	4.5	79	5,167	0.1	31,087	1.4
元 年度		14,323	0.9	223,532	1.0	39,926	▲ 2.9	37,568	0.3	2,627	20.6	24,554	4.9	78	5,203	0.7	31,673	1.9
平成30年度	4月	14,132	1.0	218,140	2.1	7,137	▲ 10.1	6,794	6.3	633	57.5	4,572	8.4	79	5,142	0.8	30,797	1.7
	5月	14,149	1.1	220,591	2.1	6,017	12.2	3,716	34.2	162	22.7	1,827	14.8	79	5,143	0.9	30,852	1.4
	6月	14,160	1.0	221,494	2.0	3,586	▲ 7.6	2,662	▲ 2.6	145	▲ 12.7	1,617	2.2	79	5,148	0.9	30,985	1.4
	7月	14,172	1.0	221,673	2.0	3,035	▲ 0.9	2,943	2.8	144	▲ 18.6	1,780	▲ 0.1	79	5,154	0.9	30,993	1.4
	8月	14,193	1.0	221,535	1.9	2,722	▲ 0.9	2,725	7.7	123	▲ 19.6	1,736	7.3	79	5,155	0.8	30,979	1.1
	9月	14,062	0.5	221,372	1.7	2,558	▲ 7.1	2,642	▲ 0.5	138	40.8	1,641	▲ 3.5	79	5,108	0.2	31,014	0.9
	10月	14,102	0.5	221,368	1.9	3,201	10.5	3,255	2.2	162	▲ 25.3	2,059	8.9	79	5,118	0.1	30,982	1.4
	11月	14,134	0.5	221,787	1.8	2,882	2.7	2,419	5.8	137	39.8	1,485	6.1	79	5,137	0.1	31,029	1.2
	12月	14,147	0.5	221,985	2.0	2,641	10.2	2,365	▲ 4.3	102	▲ 69.4	1,501	▲ 11.5	79	5,142	0.2	31,125	1.4
	1月	14,164	0.6	221,268	1.8	2,409	4.2	3,083	14.8	207	43.8	2,021	15.0	79	5,149	0.1	31,051	1.4
	2月	14,182	0.5	221,331	1.7	2,349	▲ 11.8	2,288	0.0	89	▲ 8.2	1,500	2.3	79	5,159	0.1	31,130	1.6
	3月	14,194	0.5	221,332	1.6	2,583	▲ 6.5	2,570	▲ 4.5	136	▲ 3.5	1,671	▲ 1.5	79	5,167	0.1	31,087	1.4
令和元年度	4月	14,231	0.7	221,285	1.4	6,904	▲ 3.3	6,887	1.4	580	▲ 8.4	4,508	▲ 1.4	78	5,160	0.4	31,164	1.2
	5月	14,273	0.9	223,662	1.4	5,365	▲ 10.8	3,090	▲ 16.8	169	4.3	1,978	8.3	78	5,171	0.5	31,489	2.1
	6月	14,292	0.9	224,407	1.3	3,381	▲ 5.7	2,634	▲ 1.1	119	▲ 17.9	1,621	0.2	78	5,164	0.3	31,495	1.6
	7月	14,286	0.8	224,760	1.4	3,481	14.7	3,096	5.2	145	0.7	2,022	13.6	78	5,166	0.2	31,597	1.9
	8月	14,297	0.7	224,682	1.4	2,537	▲ 6.8	2,619	▲ 3.9	151	22.8	1,716	▲ 1.2	78	5,173	0.3	31,612	2.0
	9月	14,238	1.3	224,711	1.5	2,839	11.0	2,771	4.9	195	41.3	1,908	16.3	78	5,157	1.0	31,611	1.9
	10月	14,246	1.0	224,576	1.4	3,230	0.9	3,192	▲ 1.9	229	41.4	1,999	▲ 2.9	78	5,162	0.9	31,603	2.0
	11月	14,249	0.8	224,835	1.4	2,623	▲ 9.0	2,422	0.1	208	51.8	1,560	5.1	78	5,170	0.6	31,668	2.1
	12月	14,255	0.8	224,794	1.3	2,237	▲ 15.3	2,280	▲ 3.6	140	37.3	1,428	▲ 4.9	78	5,178	0.7	31,718	1.9
	1月	14,274	0.8	224,030	1.2	2,342	▲ 2.8	3,126	1.4	169	▲ 18.4	2,141	5.9	78	5,186	0.7	31,634	1.9
	2月	14,309	0.9	223,835	1.1	2,298	▲ 2.2	2,459	7.5	213	139.3	1,649	9.9	78	5,201	0.8	31,691	1.8
	3月	14,323	0.9	223,532	1.0	2,689	4.1	2,992	16.4	309	127.2	2,024	21.1	78	5,203	0.7	31,673	1.9

*1欄「適用事業所数」、2欄「被保険者数」、7欄「事務組合数」、事務組合委託状況の8欄「事業所数」、9欄「被保険者数」の年度数は、当該年度の年度末（3月）の数値です。

*「7欄事務組合数」は、公共職業安定所の所掌する事務組合の数です。

*▲は、減少である。

雇用保険関係主要指標(給付関係)

山梨労働局職業安定部職業安定課

金額単位:千円

項目 年度		1		2		3						4				5	
		一般受給資格		基本手当		求 職 者 給 付			就 職 促 進 給 付			失 業 等 給 付 支 給 総 額					
		決定件数		初回受給者数		一般被保険者		高年齢継続被保険者		短期雇用特例被保険者		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
		決定件数		初回受給者数		一般被保険者		高年齢継続被保険者		短期雇用特例被保険者		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高年齢求職者給付		受給者数		再就職手当		常用就職支度手当		失業等給付支給総額	
年度		対前年増減率		対前年増減率		受給者数		高									

* 受給者実人員の年度数は、年度平均です。また、支給金額の年度累計額は四捨五入のため合わない場合があります。
 * 失業等給付支給総額には、日雇労働求職者給付金は含まれていません。
 * ▲は、減少である。

時系列職業紹介統計表

1. 新規求職者数（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）

山梨労働局 職業安定部 職業安定課

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	4,087	4,050	3,953	4,496	4,358	4,181	4,150	4,103	3,974	4,088	4,009	4,088
2012	24年	4,109	4,107	4,188	4,115	4,064	4,008	3,953	3,989	4,361	4,169	4,219	3,858
2013	25年	3,997	3,985	4,119	3,899	3,958	3,859	3,983	3,894	3,959	3,645	3,764	3,858
2014	26年	3,757	3,001	3,885	3,873	3,725	3,618	3,767	3,803	3,666	3,769	3,992	3,491
2015	27年	3,506	3,622	3,434	3,510	3,614	3,655	3,589	3,504	3,383	3,553	3,487	3,546
2016	28年	3,096	3,574	3,203	3,220	3,245	3,363	3,290	3,198	3,342	3,166	3,254	3,112
2017	29年	3,328	3,245	3,278	3,178	2,909	3,152	3,133	3,235	3,210	2,854	3,192	3,318
2018	30年	3,036	3,133	3,107	3,216	3,057	2,900	3,043	3,237	3,086	3,223	3,102	3,065
2019	31・元年	3,125	3,076	3,073	3,048	3,198	3,200	3,383	3,071	3,108	3,115	3,183	3,349
2020	2年	3,392	3,069	2,858									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※昭和38年度以降の統計史上で過去最高数は平成21年2月の5,146人、過去最低数は昭和44年3月の1,032人

2. 新規求人数（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	3,876	4,325	3,874	3,861	3,769	3,758	3,890	4,097	4,131	4,431	3,960	4,191
2012	24年	4,271	4,330	4,300	4,711	4,276	4,249	4,433	4,219	4,214	4,128	4,165	3,872
2013	25年	4,177	4,424	4,532	4,444	4,867	4,992	4,693	4,891	4,847	4,892	5,092	4,907
2014	26年	5,165	4,482	5,070	5,023	5,098	4,887	5,138	4,853	5,300	4,868	5,074	5,087
2015	27年	5,235	5,034	4,933	4,826	5,031	4,952	5,013	5,049	4,959	5,479	5,284	5,174
2016	28年	4,998	5,163	5,326	5,466	5,603	5,656	5,489	5,598	5,889	5,768	5,886	5,407
2017	29年	6,382	5,981	5,666	6,115	5,759	6,014	6,231	6,137	6,247	6,176	6,343	6,864
2018	30年	6,364	6,211	6,695	6,555	5,928	6,247	6,396	6,418	6,473	6,788	6,421	6,418
2019	31・元年	6,527	6,637	6,236	6,207	6,467	6,363	6,335	6,515	6,120	6,221	6,027	6,519
2020	2年	6,218	5,698	5,092									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※昭和38年度以降の統計史上で過去最高数は平成29年12月の6,864人、過去最低数は昭和52年12月の1,721人

3. 山梨県の新規求人倍率（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	0.95	1.07	0.98	0.86	0.86	0.90	0.94	1.00	1.04	1.08	0.99	1.03
2012	24年	1.04	1.05	1.03	1.14	1.05	1.06	1.12	1.06	0.97	0.99	0.99	1.00
2013	25年	1.05	1.11	1.10	1.14	1.23	1.29	1.18	1.26	1.22	1.34	1.35	1.27
2014	26年	1.37	1.49	1.31	1.30	1.37	1.35	1.36	1.28	1.45	1.29	1.27	1.46
2015	27年	1.49	1.39	1.44	1.37	1.39	1.35	1.40	1.44	1.47	1.54	1.52	1.46
2016	28年	1.61	1.44	1.66	1.70	1.73	1.68	1.67	1.75	1.76	1.82	1.81	1.74
2017	29年	1.92	1.84	1.73	1.92	1.98	1.91	1.99	1.90	1.95	2.16	1.99	2.07
2018	30年	2.10	1.98	2.15	2.04	1.94	2.15	2.10	1.98	2.10	2.11	2.07	2.09
2019	31・元年	2.09	2.16	2.03	2.04	2.02	1.99	1.87	2.12	1.97	2.00	1.89	1.95
2020	2年	1.83	1.86	1.78									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※昭和38年度以降の統計史上で過去最高倍率は平成2年11月の4.62倍、過去最低倍率は平成21年3月の0.69倍

4. 全国の新規求人倍率（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	1.01	0.99	0.98	0.95	0.98	1.00	1.07	1.05	1.14	1.15	1.17	1.19
2012	24年	1.21	1.23	1.23	1.25	1.29	1.29	1.30	1.32	1.27	1.30	1.32	1.32
2013	25年	1.34	1.38	1.38	1.41	1.43	1.47	1.47	1.50	1.50	1.57	1.57	1.59
2014	26年	1.64	1.69	1.63	1.63	1.63	1.65	1.67	1.65	1.66	1.69	1.69	1.75
2015	27年	1.77	1.72	1.76	1.76	1.76	1.79	1.83	1.84	1.86	1.84	1.89	1.89
2016	28年	2.03	1.95	1.95	2.03	2.04	2.01	2.02	2.08	2.10	2.08	2.13	2.16
2017	29年	2.14	2.16	2.15	2.17	2.28	2.23	2.25	2.23	2.27	2.34	2.34	2.41
2018	30年	2.35	2.32	2.37	2.35	2.37	2.44	2.44	2.39	2.49	2.40	2.43	2.42
2019	31・元年	2.44	2.45	2.43	2.44	2.40	2.38	2.37	2.43	2.35	2.43	2.38	2.44
2020	2年	2.04	2.22	2.26									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※昭和38年度以降の統計史上で過去最高倍率は平成30年9月の2.49倍、過去最低倍率は平成21年5月の0.76倍

1. 有効求職者数（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）

山梨労働局 職業安定部 職業安定課

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	16,690	16,670	16,645	17,050	17,063	17,195	16,964	16,734	16,707	16,721	16,663	16,666
2012	24年	16,769	16,835	16,889	16,840	16,807	16,790	16,828	16,626	16,873	17,163	17,369	17,059
2013	25年	16,912	16,649	16,622	16,497	16,492	16,469	16,192	16,037	16,284	15,597	15,420	15,244
2014	26年	15,093	14,207	14,396	14,529	14,810	14,596	14,578	14,621	14,769	14,848	15,125	14,667
2015	27年	14,537	14,541	14,432	14,247	14,083	14,121	14,092	13,962	13,711	13,564	13,487	13,400
2016	28年	13,087	13,227	13,137	12,999	12,823	12,764	12,787	12,774	12,820	12,811	12,737	12,588
2017	29年	12,758	12,749	12,890	12,666	12,510	12,421	12,395	12,477	12,632	12,313	12,336	12,355
2018	30年	12,490	12,374	12,319	12,423	12,441	12,394	12,311	12,303	12,323	12,563	12,610	12,652
2019	31・元年	12,578	12,518	12,556	12,446	12,612	12,680	12,943	12,822	12,813	12,675	12,683	12,791
2020	2年	13,317	13,371	12,993									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※昭和38年度以降の統計史上で過去最高数は平成21年7月の21,706人、過去最低数は昭和44年2月の3,810人

2. 有効求人数（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	10,165	10,500	10,365	10,061	9,885	9,408	9,539	10,168	10,381	10,727	10,842	10,964
2012	24年	11,146	11,119	11,179	11,671	11,286	11,338	11,111	11,181	10,974	11,021	10,807	10,682
2013	25年	10,760	11,170	11,526	11,713	12,258	12,814	12,843	12,721	12,662	12,817	13,123	13,461
2014	26年	13,612	12,992	13,238	13,016	13,576	13,635	13,661	13,453	13,757	13,596	13,668	13,600
2015	27年	13,765	13,881	13,885	13,675	13,321	13,170	13,433	13,687	13,605	13,880	14,090	14,336
2016	28年	13,528	13,997	14,195	14,557	15,070	15,263	15,294	15,461	15,700	15,867	15,857	15,671
2017	29年	16,319	16,511	16,664	16,833	16,696	16,882	16,903	17,098	17,367	17,411	17,776	18,217
2018	30年	18,472	18,242	18,091	18,202	18,102	17,799	17,819	18,133	18,345	18,498	18,563	18,394
2019	31・元年	18,275	18,264	18,243	17,869	18,115	18,280	18,275	18,026	17,722	17,555	17,247	17,414
2020	2年	17,508	17,055	15,582									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※昭和38年度以降の統計史上で過去最高数は平成30年11月の18,563人、過去最低数は昭和40年12月の5,466人

3. 山梨県の有効求人倍率（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	0.61	0.63	0.62	0.59	0.58	0.55	0.56	0.61	0.62	0.64	0.65	0.66
2012	24年	0.66	0.66	0.66	0.69	0.67	0.68	0.66	0.67	0.65	0.64	0.62	0.63
2013	25年	0.64	0.67	0.69	0.71	0.74	0.78	0.79	0.79	0.78	0.82	0.85	0.88
2014	26年	0.90	0.91	0.92	0.90	0.92	0.93	0.94	0.92	0.93	0.92	0.90	0.93
2015	27年	0.95	0.95	0.96	0.96	0.95	0.93	0.95	0.98	0.99	1.02	1.04	1.07
2016	28年	1.03	1.06	1.08	1.12	1.18	1.20	1.20	1.21	1.22	1.24	1.24	1.24
2017	29年	1.28	1.30	1.29	1.33	1.33	1.36	1.36	1.37	1.37	1.41	1.44	1.47
2018	30年	1.48	1.47	1.47	1.47	1.46	1.44	1.45	1.47	1.49	1.47	1.47	1.45
2019	31・元年	1.45	1.46	1.45	1.44	1.44	1.44	1.41	1.41	1.38	1.39	1.36	1.36
2020	2年	1.31	1.28	1.20									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※昭和38年度以降の統計史上で過去最高倍率は昭和48年11月の3.79倍、過去最低倍率は平成21年7月、8月の0.39倍

4. 全国の有効求人倍率（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	0.60	0.62	0.62	0.62	0.61	0.62	0.64	0.65	0.67	0.69	0.71	0.72
2012	24年	0.74	0.75	0.77	0.78	0.79	0.80	0.81	0.82	0.81	0.82	0.82	0.83
2013	25年	0.84	0.85	0.87	0.88	0.90	0.92	0.93	0.95	0.96	0.99	1.01	1.03
2014	26年	1.04	1.06	1.07	1.08	1.09	1.09	1.10	1.10	1.10	1.11	1.12	1.14
2015	27年	1.15	1.16	1.16	1.16	1.18	1.19	1.20	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27
2016	28年	1.29	1.30	1.31	1.33	1.35	1.36	1.36	1.37	1.39	1.40	1.41	1.42
2017	29年	1.43	1.45	1.45	1.48	1.49	1.50	1.51	1.52	1.53	1.55	1.56	1.58
2018	30年	1.59	1.59	1.59	1.60	1.60	1.61	1.62	1.63	1.63	1.63	1.63	1.62
2019	31・元年	1.63	1.63	1.62	1.63	1.62	1.61	1.59	1.59	1.58	1.58	1.57	1.57
2020	2年	1.49	1.45	1.39									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※昭和38年度以降の統計史上で過去最高倍率は昭和48年11月の1.93倍、過去最低倍率は平成21年8月の0.42倍

就業地別

参考指標

1. 新規求人数（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）山梨労働局 職業安定部 職業安定課

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	4,111	4,617	4,226	4,069	3,968	4,026	4,140	4,282	4,250	4,508	4,255	4,467
2012	24年	4,430	4,645	4,537	5,140	4,703	4,550	4,726	4,544	4,509	4,520	4,504	4,313
2013	25年	4,644	4,855	4,870	4,850	4,972	5,181	5,022	5,018	5,088	5,108	5,315	5,161
2014	26年	5,546	4,623	5,329	5,627	5,389	5,206	5,470	5,281	5,871	5,294	5,442	5,624
2015	27年	5,548	5,479	5,305	5,392	5,587	5,462	5,483	5,551	5,555	6,162	5,874	5,802
2016	28年	5,550	5,754	6,062	6,157	6,239	6,400	6,281	6,388	6,591	6,528	6,508	6,222
2017	29年	6,868	6,653	6,483	6,773	6,520	6,678	7,086	6,904	7,126	6,993	7,188	7,900
2018	30年	7,136	7,055	7,412	7,525	6,647	7,082	7,163	7,346	7,332	7,629	7,352	7,353
2019	31・元年	7,267	7,454	7,139	6,777	7,338	7,372	6,800	7,322	7,001	6,960	6,933	7,629
2020	2年	6,744	6,496	5,881									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※季節求人については受理所を就業地とみなしている。
※就業地として複数の市区町村が挙げられている求人については、求人数を該当の市区町村に割り当てることにより集計している。

2. 有効求人数（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	10,785	11,081	11,111	10,865	10,457	10,086	10,214	10,701	10,943	11,208	11,383	11,631
2012	24年	11,697	11,720	11,875	12,516	12,301	12,420	12,182	12,085	11,904	11,974	11,805	11,790
2013	25年	11,904	12,270	12,856	12,690	13,040	13,380	13,541	13,401	13,321	13,297	13,674	14,102
2014	26年	14,409	13,547	14,006	14,101	14,703	14,793	14,764	14,527	14,892	14,870	14,953	14,756
2015	27年	14,949	15,144	15,154	14,933	14,808	14,740	14,955	15,170	15,090	15,467	15,832	16,098
2016	28年	15,454	15,705	16,113	16,553	17,164	17,232	17,377	17,611	17,854	17,959	17,777	17,590
2017	29年	18,335	18,486	18,763	18,959	18,856	18,990	19,193	19,440	19,895	19,891	20,216	20,724
2018	30年	21,060	20,796	20,416	20,808	20,670	20,306	20,235	20,702	20,776	20,962	21,146	20,869
2019	31・元年	20,729	20,635	20,559	19,943	20,237	20,518	20,442	20,204	19,932	19,705	19,531	19,770
2020	2年	19,795	19,215	17,655									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※季節求人については受理所を就業地とみなしている。
※就業地として複数の市区町村が挙げられている求人については、求人数を該当の市区町村に割り当てることにより集計している。

3. 就業地別新規求人倍率（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	1.01	1.14	1.07	0.91	0.91	0.96	1.00	1.04	1.07	1.10	1.06	1.09
2012	24年	1.08	1.13	1.08	1.25	1.16	1.14	1.20	1.14	1.03	1.08	1.07	1.12
2013	25年	1.16	1.22	1.18	1.24	1.26	1.34	1.26	1.29	1.29	1.40	1.41	1.34
2014	26年	1.48	1.54	1.37	1.45	1.45	1.44	1.45	1.39	1.60	1.40	1.36	1.61
2015	27年	1.58	1.51	1.54	1.54	1.55	1.49	1.53	1.58	1.64	1.73	1.68	1.64
2016	28年	1.79	1.61	1.89	1.91	1.92	1.90	1.91	2.00	1.97	2.06	2.00	2.00
2017	29年	2.06	2.05	1.98	2.13	2.24	2.12	2.26	2.13	2.22	2.45	2.25	2.38
2018	30年	2.35	2.25	2.39	2.34	2.17	2.44	2.35	2.27	2.38	2.37	2.37	2.40
2019	31・元年	2.33	2.42	2.32	2.22	2.29	2.30	2.01	2.38	2.25	2.23	2.18	2.28
2020	2年	1.99	2.12	2.06									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※季節求人については受理所を就業地とみなしている。
※就業地として複数の市区町村が挙げられている求人については、求人数を該当の市区町村に割り当てることにより集計している。
※就業地別求人倍率は、県内の雇用機会の規模をみるためのものです。

4. 就業地別有効求人倍率（季節調整値；新規学卒を除きパートを含む）

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2011	23年	0.65	0.66	0.67	0.64	0.61	0.59	0.60	0.64	0.65	0.67	0.68	0.70
2012	24年	0.70	0.70	0.70	0.74	0.73	0.74	0.72	0.73	0.71	0.70	0.68	0.69
2013	25年	0.70	0.74	0.77	0.77	0.79	0.81	0.84	0.84	0.82	0.85	0.89	0.93
2014	26年	0.95	0.95	0.97	0.97	0.99	1.01	1.01	0.99	1.01	1.00	0.99	1.01
2015	27年	1.03	1.04	1.05	1.05	1.05	1.04	1.06	1.09	1.10	1.14	1.17	1.20
2016	28年	1.18	1.19	1.23	1.27	1.34	1.35	1.36	1.38	1.39	1.40	1.40	1.40
2017	29年	1.44	1.45	1.46	1.50	1.51	1.53	1.55	1.56	1.57	1.62	1.64	1.68
2018	30年	1.69	1.68	1.66	1.67	1.66	1.64	1.64	1.68	1.69	1.67	1.68	1.65
2019	31・元年	1.65	1.65	1.64	1.60	1.60	1.62	1.58	1.58	1.56	1.55	1.54	1.55
2020	2年	1.49	1.44	1.36									

※季節調整法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）による。なお、令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。
※季節求人については受理所を就業地とみなしている。
※就業地として複数の市区町村が挙げられている求人については、求人数を該当の市区町村に割り当てることにより集計している。
※就業地別求人倍率は、県内の雇用機会の規模をみるためのものです。

令和元年度 安定所のマッチング機能にかかる主要指標の局・所目標値及び実績

	(1)主要指標 目標値 (安定所のマッチング業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標)		
	就職件数(常用) 【ハローワークの紹介で 就職した件数】	求人充足件数 (常用、受理地ベース) 【ハローワークが受理した 常用求人の充足件数】	雇用保険受給者の 早期再就職件数(常用) 【雇用保険の基本手当の所定 給付日数を3分の2以上残して 早期再就職する件数】
労働局	10,899件以上	10,406件以上	2,939件以上
甲府所	5,209件以上	5,829件以上	1,653件以上
富士吉田所	2,138件以上	1,961件以上	529件以上
塩山所	962件以上	776件以上	255件以上
韭崎所	1,398件以上	1,069件以上	276件以上
鯉沢所	1,192件以上	771件以上	226件以上

	(2)主要指標 2年3月分実績 (③については2月分)		
	①就職件数(常用)	②充足件数 (常用、受理地ベース)	③雇用保険受給者の 早期再就職件数(常用)
労働局	1,365件	1,345件	183件
甲府所	516件	608件	119件
富士吉田所	270件	233件	33件
塩山所	109件	70件	10件
韭崎所	197件	190件	15件
鯉沢所	273件	244件	6件

	(3)主要指標 実績累計【31年4月～2年3月】 (③については4～2月分)		
	①就職件数(常用)	②充足件数 (常用、受理地ベース)	③雇用保険受給者の 早期再就職件数(常用)
労働局	11,509件	10,946件	2,865件
甲府所	5,586件	6,067件	1,604件
富士吉田所	2,362件	2,088件	542件
塩山所	1,050件	744件	241件
韭崎所	1,420件	1,248件	291件
鯉沢所	1,091件	799件	187件